

## 感染症学

責任者・コーディネーター	感染症学・免疫学分野 村木 靖 教授		
担当講座・学科(分野)	小児科学講座、病理診断学講座、循環器内科分野、呼・アレ・膠原病内科分野、救急医学講座、消化器内科消化管分野、機能病態学分野、血液腫瘍内科分野、睡眠医療学科、衛生学公衆衛生学講座		
担当教員	外館 玄一郎 助教、菅井 有 教授、房崎 哲也 特任准教授、中村 豊 准教授、鈴木 泰 講師、中村 昌太郎 准教授、佐藤 孝 教授、小宅 達郎 講師、櫻井 滋 教授、坂田 清美 教授		
対象学年	4	区分・時間数	講義 18.0 時間
期間	後期		

### ・学習方針（講義概要等）

感染症学を学ぶ目的は、1～2年次で学んだ微生物学や感染免疫学の知識を、臨床医学の面から再構築することである。感染症はほとんどの診療科目に関係がある。したがって基礎医学の立場からだけでなく、臨床医学の視点で学習し直すことがより重要である。基礎医学で学んだ知識の復習をし、さらに各々の講義と演習を通じ、役に立つ感染症の知識を身に着けることを期待する。

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

### ・教育成果（アウトカム）

この講義を受講することで、それまでに各教科で学んできた感染症に関連する知識が整理され、試験で問われる感染症の重要ポイントの確認ができる。さらに CBT 試験の出題傾向にも慣れ、最終的に CBT 合格に到達する。

### ・到達目標（SBO）

医学教育モデル・コア・カリキュラム（教育内容ガイドライン）の中の感染症に関連した領域の目標を達成する。

・ 講義日程

(矢) 西 104 1-D 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
11/24	火	1	衛生学公衆衛生学講座	坂田 清美 教授	医学教育モデル・コア・カリキュラムの当該領域（公衆衛生）の演習とその解説講義
11/24	火	2	小児科学講座	外館 玄一郎 助教	医学教育モデル・コア・カリキュラムの当該領域（小児科）の演習とその解説講義
11/24	火	3	病理診断学講座	菅井 有 教授	医学教育モデル・コア・カリキュラムの当該領域（病理）の演習とその解説講義
11/24	火	4	循環器内科分野	房崎 哲也 特任准教授	医学教育モデル・コア・カリキュラムの当該領域（循環器）の演習とその解説講義
11/25	水	1	呼・アレ・膠原病 内科分野	中村 豊 准教授	医学教育モデル・コア・カリキュラムの当該領域（呼吸器）の演習とその解説講義
11/25	水	2	感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授	医学教育モデル・コア・カリキュラムの当該領域（細菌学の基礎）の演習とその解説講義
11/25	水	3	救急医学講座	鈴木 泰 講師	医学教育モデル・コア・カリキュラムの当該領域（救急医学）の演習とその解説講義
11/25	水	4	感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授	医学教育モデル・コア・カリキュラムの当該領域（ウイルス学の基礎）の演習とその解説講義
11/26	木	1	消化器内科消化管分野	中村 昌太郎 准教授	医学教育モデル・コア・カリキュラムの当該領域（消化管、肝）の演習とその解説講義
11/26	木	2	機能病態学分野	佐藤 孝 教授	医学教育モデル・コア・カリキュラムの当該領域（寄生虫）の演習とその解説講義

11/26	木	3	血液腫瘍内科分野	小宅 達郎 講師	医学教育モデル・コア・カリキュラムの当該領域（血液）の演習とその解説講義
11/26	木	4	睡眠医療学科	櫻井 滋 教授	医学教育モデル・コア・カリキュラムの当該領域（感染対策）の演習とその解説講義

・教科書・参考書等

教：教科書      参：参考書      推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
登録済の教科書・参考書等はありません				

・成績評価方法

進級試験の成績をもって評価する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
登録済の機器・器具はありません			